

第1回 基本問題・影響調査専門調査会 女性の活躍促進ワーキング・グループ議事要旨

(開催日時等)

- 1 日時 平成24年9月28日(金) 10:20~12:35
- 2 場所 内閣府本府仮設庁舎講堂
- 3 出席者
座長 鹿嶋敬 実践女子大学教授
委員 上村敏之 関西学院大学教授
岡田真理子 和歌山大学准教授
岡本直美 日本労働組合総連合会会長代行
榊原智子 読売新聞東京本社編集局社会保障部
中窪裕也 一橋大学大学院教授
巻美矢紀 千葉大学大学院准教授
山川隆一 慶應義塾大学大学院教授
山本隆司 東京大学大学院教授

(議事次第)

- 1 開会
- 2 座長代理の指名について
- 3 ワーキング・グループの今後の進め方について
- 4 これまでの報告書で整理した内容等について
- 5 ワーキング・グループで検討すべき論点(座長試案)について
- 6 行政分野・雇用分野における検討
- 7 閉会

(配布資料)

- 資料1: ワーキング・グループの設置等について
- 資料2: ワーキング・グループの今後の進め方について(案)
- 資料3: ポジティブ・アクションについて
- 資料4: これまでの報告書で整理した内容について
- 資料5: ワーキング・グループにおいて検討すべき論点(座長試案)
- 資料6: 行政分野における現状について
- 資料7: 雇用分野における現状について
- 資料8: 諸外国における公務員と民間におけるポジティブ・アクション制度の比較
- 資料9-1: 山本隆司委員提出資料
- 資料9-2: 岡田真理子委員提出資料
- 資料9-3: 中窪裕也委員提出資料
- 資料9-4: 山川隆一委員提出資料
- 資料9-5: 辻村みよ子委員提出資料
- 資料9-6: 巻美矢紀委員提出資料

- 参考資料1: 第3次男女共同参画基本計画の数値目標
- 参考資料2: 第3次男女共同参画基本計画の具体的施策
- 参考資料3: 諸外国と比較した我が国の状況等について

(議事概要)

- ・ 鹿嶋座長より辻村委員が座長代理に指名された。
- ・ 事務局より、ワーキング・グループの今後の進め方として、月1回程度議論を行い、年末までに中間的な整理をすることについて説明を行った。
- ・ 事務局より、ポジティブ・アクション研究会報告書（平成17年10月）や基本問題・影響調査専門調査会報告書（平成24年2月）等に基づき、これまで整理を行った内容等について、説明を行った。
- ・ 鹿嶋座長より、座長試案としてワーキング・グループにおいて検討すべき論点が示された。
- ・ 行政分野・雇用分野における検討では、山本、岡田、中窪、山川、巻委員から論点に沿った意見表明が行われ、その後、自由討議を行った。